



「しばた」  
を知って楽しみ、  
「新しいしばた」  
の町をつくる新聞

平成30年3月25日号

発行所 / (有)アミックス  
〒957-0018 新発田市緑町2-6-45-7号棟  
tel 0254-20-7841 fax 0254-20-7851 http://sop-web.com

原料はすべて  
自然由来です

高橋農園の手作りジャム

600円税別

高橋農園 (新発田市鳩山1314)  
TEL.0254-29-2287  
http://takahashinouen.com/

## 二階堂馨市長、3選出馬表明

3月8日(木)、新発田市議会2月定例会の佐久間敏夫議員の代表質問に答え、二階堂馨市長が3期目に向けて、この11月に行われる市長選への出馬を表明した。

2月24日(土)の二階堂かおる後援会拡大役員会での3選出馬要請を受けた形だ。

佐久間敏夫議員の質問と、二階堂馨市長の答弁(出馬表明)の要約は次の通りだ。

【佐久間敏夫議員質問】

二階堂市長はいよいよ2期目(任期の最終年度)をもちました。任期の間に「アイネス(旧新発田病院跡地防災公園)」「イクネス(旧新発田駅前複合施設)」「ヨリネス(新市庁舎)の供用開始、義務教育施設の耐震化・学校統合、子育て支援策など、多くの実績と方向性を示すことができたと思えます。公約の成果を総括した上で、新たな目標を掲げ、3期目を目指す考えはないものか、お答えがいたします。

【二階堂市長答弁】

平成22年12月の市長就任以来、振り返りますと、1期目は市行政の5つの重要課題、市庁舎建設、下水道投入施設建設・学校耐震化の推進、旧新発田病院跡地の防災公園化、新発田駅周辺整備事業を引き継ぎながら、「新発田の子」ともたちの未来のために、ムタの排除と産業振興によって収入を増やし、それを福祉や教育に回すとの基本理念に基づき、産業振興や福祉などの種を蒔きながら、賑わい溢れる中心市街にするために、「新発田の賑わい」を進めてきました。

【2期8年の評価(1/5/1)】

2期目には、1期目の事業を市民の皆様とともに育む一方、喫緊の課題であります人口減少に歯止めをかけたため、あらゆる施策を展開してきました。その甲斐あって、転入者が増加し、社会減を止めるなど一定の成果をあげることができました。少子化対策では完全待機児童解消「産業振興」では企業誘致によって西部工業団地を完売、「教育」の充実では全国標準学力検査で小・中学校ともに全国平均を下回るまでになったことなど、まさに未来に「なごみ」が出来たと自負しています。

このようなことから、市民の皆様との約束はなおお果たすことができたのではないかと考えています。これもひとえに議員の皆様をはじめ、市民の皆様のご理解とご協力、そしてご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

【現状の最大の課題】

しかしながら、これに甘んじている訳にはいきません。なぜなら地方創生、すなわち人口減少は待ったなしです。私の目指す「スローガン」の「住みよいまち日本一」は人が喜んで住むまち・人が寄つてくるまちであり、その尺度は人口です。まちづくりにとって、取り組まなければならぬ最大の課題は、何と言っても人口減少対策に尽きます。これを乗り越えない限り、「新発田の未来はない」と思っています。未来のないまちを子どもたちに引き継ぐ訳にはまいりません。

【3期目出馬表明】

思い起こしてみてもいいと思います。私たちの祖先も幾多の苦難に会い、挫折と絶望に向き合い、そのつと克服してきました。そして新発田の心を育み、豊かになった土地を私たちに遺してくれました。克服できない苦難はありません。

かつての祖先のように誠心誠意、創意を凝らし、今の課題を乗り越え、今よりも一歩前進したこの新発田を「未来の子どもたち」に引き継ぎ、そして、それこそ私の使命だと考えています。

その使命を果たさんと欲するなか、先般私の後援会から市長として3期目を目指すよう、来る11月の市長選への出馬要請をいただきました。

私はこの要請を重く受け止め、初心に立ち返って出馬を決意いたしました。

私は2期8年を真摯に市民の皆様と向き合い、自らが述べたことは精一杯取り組んできました。そして、新発田のまちを思う気持ちは最初に市長に立候補したときより一層濃くなっています。

議員各位ならびに市民の皆様には、今後とも一層のご指導ご鞭撻を心からお願ひ申し上げます。

【子育て支援「学力の充実」では満点以上、「産業振興」では更なる努力が求められる】

今のところ、対抗馬として複数の名前が挙がっているが、市長選出馬に向けての具体的な動きはない。

二階堂氏が市長になった直後、公約だった市長報酬の30%削減を実現させて、最初の予算編成に入った。ほとんどが片山市政からの懸案事項の解決に向けられた予算審議のさなかの3月11日(金)に、東日本大震災が被災、3月20日(日)現在で約8,200人の被災者が新発田に避難してきた。それからの半年は避難してきた人への被災地支援に追われた。この対応は支援が必要で、地域に直接、市独自のきめ細かな支援をするもので、水際立っていた朝日新聞は

「新発田方式」と称賛した。

2期目の予算編成で「産業振興(雇用の創出)」「少子化対策(子育て支援)」を施策の2本柱とし、その後選ばれるまちを目指して、「教育の充実(学力の向上)」が加えられ、3本柱とした。3本柱には横串として「人口減少対策」が買っている。

「少子化対策(子育て支援)」では、保育園・こども園の整備、子ども医療費の無料化、第3子以降の保育料無料化などを矢張り早くに実施し、第3子以降の出生率の向上や待機児童ゼロを達成した。これを定住支援策が後押しして子育て世代の転入を促した。

「教育の充実(学力の向上)」では、英語・数学の指導を独自に配置、土曜学習教室開始とその拡充、N・R・T標準学力検査の実施など、全国平均を下回っていた中学生の成績を全国平均以上に引き上げた。教育レベルの高いまちには人が集まる。

「産業振興(雇用の創出)」では、基幹産業である農業、観光を中心に施策を展開してきた。4年前から観光のインバウンド(外国人観光客誘致と農産品のアウトバウンド)輸出促進を組み合わせ、台湾を中心にセールスを展開し、外国人観光客増加し、新発田産品の輸出は昨年55トン、今年は170トンの輸出を見込んでいる。画期的な取り組みではあるが、産業全体に経済効果をもたらすレベルには至っておらず、果実を得るまでには、まだまだ時間がかかるだろう。

工業分野では、西部工業団地は完売したものの、新規造成した食品工業団地はまだ完売に至っていない。企業誘致では自治体も苦戦している。二階堂市長が3期目を目指すならば、「産業振興」分野での継続的な取り組みが必要となる。

1期目の公約の「ムタの排除も今後の課題だ。」「人口減少対策」には2つ、意味がある。なるべく人口を減らさないこと、一方で人口減少に合わせて公共施設等を統廃合・集約化し、行政経費を削減することだ。

## コラム

そだねー



もぐもぐタイムはじき

▼平昌オリンピック、パラリンピック、目が離せなかった。オリは村上の平野歩夢が出ていたし、パラには新発田市役所の出来島桃子が出演していたから、なおさらだ。出来島は壮行会で「少しでも上を目指して頑張ります」と言った通り、ひたむきに走り、その姿に胸を熱くした。▼オリ・パラの熱が冷めないうちに始まったカリーニング日本混合ダブルス選手権。庄巻はL・S北見のスキップ・藤澤五月とS・C軽井沢のセカンド・山口剛史の「フジヤマ」ペアとL・S北見のサード・吉田知那美とS・C軽井沢のサード・清水徹郎の「てっちな」ペアの準決勝で、攻めめか迷っていた藤澤に山口が突然「そだねー」と声掛けした。藤澤は思わず吹き出し、その結果相手の石を弾き出して4点獲得。接戦をものにした。▼こっち(山口)がアイス滑ると言っても、さっちゃん(藤澤)は滑らないと思うんだよ、とかすつと言ってる。そういうときは「そだねー」と聞き流す。これは吉田知那美が編み出した(藤澤マニユール)だという。吉田によれば「気分がよければ藤澤は最強スキップ」、山口はL・S北見の合言葉、「キーブ・スマイル」も何度かささやいていた。▼「そだねー」は何となく使っていたのでなく、落ち着いてブレるためのコミュニケーションツールだったのだ。相手を尊重して、まずは聞いて、肯定する。▼聞くのが苦手、相手の話の腰を折ってしまうこと多い私も、真似することにした。

# 第3子以降の給食費無料化に 新年度1千834万円を計上

小中学校に在学する第3子以降世帯に  
いったん給食費支払い後に同額を支給

3月12日(月)から始まった新発田市議会  
一般質問では、新年度の子育て支援策として  
導入される第3子以降学校給食費支援事  
業、昨年6月の市内中学生の自殺を受けて  
の「いじめ対策事業などについて、真剣な質  
疑が行われた。一部要約して掲載する。

【佐藤眞澄議員質問】

一律納付方式では保護者にとって負担で  
あります。一律納付方式ではなく、現物支  
給方式にすべきではありませんか。

「小中学校に同時在学する児童生徒のうち  
第3子以降」が対象というけれど、これでは  
3人いても「第3子」にならないのでは。  
もれなく助成できるように第3子が生まれ  
た時点对象とすべきではありませんか。

【二階堂馨市長答弁】

予め給食費を支払わない現物支給方式で  
はなく、いったん支払った後その額を支援  
する一律納付方式とした理由は4つです。

1つには食育の観点から、食材・食材生  
産者・調理師や給食関係者に感謝する気持  
ちを育むため、2つには新たな事業を立  
ち上げるに当たって、学校現場職員の事務  
量を抑制して、多忙化解消に資するため、3  
つには子育て支援という事業の趣旨が薄れ  
てしまうのを防ぐため、4つは前提とし  
て、学校給食費の未納がないことを要件と  
して、支援世帯で未納を抑制するため  
に一律納付方式を選択しました。

次に助成対象についてです。

第1子の年齢要件を、高校生に合わせた  
18歳以下とした場合、大学生に合わせて22  
歳以下とした場合、見附市のように、第3子  
が生まれた時点で第1子が支援対象となる

場合などを含めて検討しました。

最終的には、現在の厳しい財政状態にお  
いては、小中学校に同時在学する児童生徒  
の第3子以降という設定を行いました。

\*

第3子以降学校給食費支援事業について  
は小柳肇議員からも同様の指摘があった。

【小柳肇議員質問】

私が以前提案した給食費無償化につい  
ては「第3子以降限定」と見附市の後塵を  
拝するパンチに欠ける内容です。統計上世  
帯収入の多いほど、第2子・3子をもつけ  
る傾向にあります。(中略)まずは結婚や第  
1子をもつけることを応援する施策を強化  
すべきではありませんか。

【二階堂馨市長答弁】

第3子以降学校給食費支援事業について  
は給食費の無料化を事業化するとは考え  
ていません。少子化対策として、多子世帯に  
援制度として提案しているものです。

当市は、国県の平均に比べて第3子の出生  
率が高く、多子世帯においては比較的若い  
親御さんが多いことから、全世帯を対象と  
するのではなく、小中学校に在学する第3  
子以降の子育てに奮闘する世帯を応援する  
事業としました。

結婚を応援する施策の強化については  
人口減少を克服するため、独身男女に出会  
いの場を提供して、未婚・晩婚化に歯止  
めをかけることを目的に、平成24年度から  
婚活支援事業に取り組んでいます。(中略)

これまでの参加者は延べ1千988人、  
カップル誕生数は199組、カップル率は  
36%となっていることから、一定の成果を  
あげていると考えています。(中略)

新年度はさらなる成婚数の増加を目指

これまでの婚活イベント各種セミナー  
の開催に加え、利用者の多様化するニーズ  
に 대응するため、新潟県が平成28年度から実  
施している「会員制の婚活マッチングシ  
テム」を導入した「1対1の出会いへの支  
援」や、誰もが利用できる個別相談会の開  
催など、一人ひとりに寄り添った取り組み  
を実施し、婚活支援活動を支援します。

\*

佐藤議員・小柳議員ともに一問一答で、  
「第3子が生まれて6年後から給食費が無  
料になる」と、生まれた時点で無料になる  
のではインセンティブが薄く、旨を指摘し  
たが、二階堂市長は財政難であるから、まず  
はこの制度で始めたいとした。

また、婚活支援ではカップル成立率は高  
いのにも、担当課の努力にもかかわらずな  
か婚姻に結び付きにくいという問題が依  
然として存在する。結婚は極めて個人的な  
問題であるから、これまで後押しすべきか  
という根本的な議論もある。

【二階堂馨市長答弁】

昨年の中学生の自殺を受け、市教委も一  
歩進めた対策を講じていることになった。  
CAPプログラム事業では、小学校5年  
生・中学校1年生の全員、および教職員・  
保護者に対して実施されるCAPプログラ  
ムとは、子どもが「いじめ」「虐待」「体  
罰」「性暴力」などの暴力から自分の心と身  
体を守る暴力防止のための予防教育プロ  
ラムのこと。座学ではなく、子どもが主体的  
にロールプレイを通して、自ら考える  
という形式で行うのが一般的だ。いわゆる  
「いじめ」「虐待」「体罰」「性暴力」がいかに悲  
惨で、やってはいけないものであるかを感  
じる子どもに、それらから自ら友達を守る  
ための学習だ。

【10代の居場所カフェ事業では、JR新発  
田駅前複合施設イクネスの多目的室に週2  
〜3回10代の居場所カフェを設けて、教  
員経験者などを配置し、10代の悩み事の相  
談を受け付けようというものだ。相談室と  
はせず、気軽に寄れるように名称を「カ  
フェ」とし、飲みものも無料で提供する。

【大倉喜八郎向島別部・蔵春閣は  
検討委員会を移築場所・活用方法を検討中  
新発田市に寄贈されることが決まった大  
倉喜八郎向島別部・蔵春閣の活用について  
は、小林誠・中野廣衛議員が質問した。

【小林誠議員質問】

中心市街地活性化・観光誘客の観点にお  
いて、蔵春閣の位置づけをどのように関連  
付けていくのか。おつかがいいます。

【二階堂馨市長】

蔵春閣は建築物として歴史的・文化的な  
価値が高く、世界でも誇れる宝であること  
から、得られる効果を最大限に発揮できる  
ように検討します。移築場所・今後の活用  
方法については、市観光戦略地域経済活性化  
に関わることから、関係団体・有識者・市  
民公募委員で組織する検討委員会を立ち  
上げました。1月に開かれた1回目では、蔵  
春閣を単なる見学施設ではなく積極的に利  
活用する方針を決定、2回目では複数候補  
地を現地確認してもらいました。今後はそ  
れらの検証を踏まえて本格的な議論に移る  
と聞いています。

\*

市長の言う通り、利活用が成否が最大のボ  
イントである。移築場所は利活用にかける  
場所を選定すべきである。多大な維持費を支  
出するだけの施設としてはならない。

蟻塚税務会計事務所 新発田市大栄町 7-1-6 TEL.0254-23-2222	茨木建設(株) 新発田市長尾 284-1 TEL.0254-23-6851
飯豊電設工業(株) 新発田市豊町 2-18-5 TEL.0254-24-2134	新発田ニユー プラザホテル 新発田市豊町 1-9-29 TEL.0254-26-3131
(株)伊藤組 新発田市島湯 1273-1 TEL.0254-22-4176	新発田建設(株) 新発田市富塚 1942 TEL.0254-27-5711
(株)イノウエ 新発田市新栄町 1-3-2 TEL.0254-22-4056	島津印刷(株) 新発田市富塚 1419 TEL.0254-27-2101
(株)岩村組 新発田市大手町 4-3-21 TEL.0254-20-5550	(株)新和組 新発田市米倉 1287 TEL.0254-28-5011
SODデザイン 高橋信志 新発田市新富町 1-13 TEL.0254-24-5121	大進電業(株) 新発田市佐々木 1895-9 TEL.0254-21-5000
小野寺税務会計事務所 新発田市大栄町 2-7-7 TEL.0254-22-3497	(株)大通 新発田市舟入町 1-12-5 TEL.0254-26-1191
(株)下越道路 新発田市新富町 1-1-5 TEL.0254-23-2296	新潟ファームサービス(株) 新発田市五十公野 4104-1 TEL.0254-20-3828
(有)クサカベモーターズ 新発田市五十公野 4836 TEL.0254-22-6311	フジマ舗道(株) 新発田市島湯 4197-3 TEL.0254-26-5030
(株)こじまホールディングス 新発田市中央町 3-5-12 TEL.0254-26-3381	扶桑畜産(有) 新発田市米倉字島越 4666-1 TEL.0254-26-5136
小林税務会計事務所 新発田市中央町 5-4-27 TEL.0254-22-2705	山田建設(株) 新発田市大友 3856 TEL.0254-25-0700
小柳産業(株) 新発田市八幡新田 416 TEL.0254-22-7010	(株)安田組 新発田市豊町 4-3-39 TEL.0254-24-1761

介護老人 福祉施設 陽だまり苑 新発田市岡田 1746-1 TEL.0254-20-3900	(株)オオヌマ 新発田市五十公野 3969 TEL.0254-22-2223
複合型 福祉施設 コンフィ 陽だまり苑 新発田市豊町 1-10-38 TEL.0254-24-1111	(株)ワゴードライ 新発田市佐々木 3445 TEL.0254-27-2261

「旬」を  
かして  
おまや  
新発田市御幸町1丁目1の1  
☎(0254)22-2102(代)

四季折々の美味  
割烹 多奈可や  
新発田市稲荷岡 2066  
☎0254-41-2013

堀部安兵衛ファン待望の出版 / A4・オールカラー / 84頁  
**武庸会百周年記念誌**  
新発田人なら  
一家に一冊

- ◆堀部安兵衛略伝
- ◆堀部安兵衛の家紋
- ◆中山家と長徳寺
- ◆義士堂の天井画
- ◆元禄赤穂事件
- ◆安兵衛文庫
- ◆堀部安兵衛武庸家系図
- ◆武庸会百年の歩み
- ◆義士堂の木像とその由来
- ◆芸能にみる安兵衛と忠臣蔵
- ◆安兵衛観光マップ
- ◆堀部安兵衛資料など

頒布所：新発田市観光協会 新発田市豊町 1-2-11  
Tel.0254(26)6789  
頒布価 1000円

元禄赤穂事件 討入りの真実④

# 幕府の目的は上杉家取り潰し、溝口家は親戚の浅野家に同情

新潟大学名誉教授 忠臣蔵学会会長 富澤信明

安兵衛と溝口損津守は、はと。安兵衛の姉は損津守の家の嫁。今回は、溝口家が浅野家に加担したわけを婚姻関係から明らかにする。

新発田藩初代藩主溝口秀勝の娘・糸姫は溝口四郎兵衛に嫁ぎ、その娘は中山弥次右衛門の後妻となって、安兵衛と姉のさちを産んだ。安兵衛は秀勝の心孫にあたる。

一方、溝口秀勝の嗣子で2代藩主の直勝は長男直直に3代藩主を継がせ、次男直秋に切梅6千石・三男直俊に池端5千石・四男直知にツ堂4千石を与えて分家させた。赤穂浪士の討入りのときに浪士を支援したのは、切梅の直秋の子の溝口損津守直就だ。直就は秀勝の心孫にあたる。

この二つの系図から、安兵衛と溝口損津守が「はと」であることが分かる。また、安兵衛の姉のさちが溝口修理の嫁である町田新助(新五右衛門)に嫁いでいる。溝口修理とは後に大目付となる溝口損津守直就のことである。つまり、安兵衛は溝口損津守の家臣の義理の弟でもある。

1804(元禄7)年、高田の馬場の決闘で江戸中に名を馳せた中山安兵衛は赤穂藩江戶留守役の堀部弥兵衛に娘婿に望まれたとき、「中山家に男子は私しかなく、中山家再興のために中山姓を捨てるわけにはいかない」と誓い縁組をいったん断った。しかし、安兵衛にはれ込んだ弥兵衛は諦めず、中山姓のままでの娘との婚姻許可を主君の浅野内匠頭(現)に願ひ出、浅野内匠頭は堀部家が消滅することになるにもかかわらず、快くこれを許可した。この婚姻許可願の

折安兵衛は親類書を提出したその書類に「姉 町田新助妻 溝口修理殿知行所越後桐梅罷在候」

浅野内匠頭は婚姻を許すにあたり、義理の従兄である溝口修理を通じて安兵衛の素性を確認したうえで、異例ともいえる中山姓のままでの、堀部家との誓い縁組を許可したのである。

安兵衛は、逆にこの浅野内匠頭の措置に感激し、嫁入りと同時に中山姓を捨てて堀部安兵衛武勇と名乗ることになる。

安兵衛を感激させた浅野内匠頭の措置はもう一つある。1808(元禄11)年、尾張大納言光友の室(妻)の千代姫(3代將軍家光の長女・近江の赤穂藩主浅野内匠頭の名代の弔問使として派遣されたことである。新参者の安兵衛が扱われたとは異例である。安兵衛は感激して主君を大いに慕うようになる。この2点は後の吉良邸討入りの原動力となったものと頭われる。

親戚である溝口損津守直就には、高田の馬場で名を挙げた江戸随一の英雄であり、「はと」でもあった安兵衛への討入りを支援する動機があったと言えよう。

浅野内匠頭と溝口損津守は義理のいとこ。浅野家と溝口家は代々親戚で親しかった。実はこの研究で明らかになったことはまだある。それは浅野家と溝口家の姻戚関係である。浅野内匠頭と溝口損津守は義理の従兄弟(いとこ)である。浅野家を溝口家は、江戸時代初期から代々続いた縁戚関係があるのである。

ただ縁戚(親類)であると言っただけでなく非常に親しくもあつた。4代新発田藩主溝口直広が老中阿部豊後守正武に示した書付の第八條に「私並の者の内、堀左京亮 浅野内匠頭在江戸の時分、毎度御話初罷出申候とある。なんと、浅野内匠頭と溝口直広は御話初に同席しているのである。

なお、堀左京亮直利とは堀秀治の従兄で執政(家老)の堀直政の玄孫(孫の孫)である。新発田藩初代藩主溝口秀勝は堀秀治の与力大名、溝口家は堀家に仕えていた主従の縁がある。

溝口家と浅野家は江戸時代初期からの縁戚関係の語に良くと、次項の図④に示した通り、代々別系統で六重の縁であつたことが分かる。これは糸程の親密な関係である。

1702(享保17)年に新発田藩の中老・山庄小左衛門が書いた溝口家の系図「系系不盡書」の溝口直秋(溝口損津守の父)の項には次のような記載がある。

「又十長御名浅野但馬守様より被進候由重雄様御出被遊」浅野家別御懸にて有之候由」

又十郎という直秋の連称は広島浅野家初代藩主の浅野長展が付けたと、また浅野家とは特別に親しいと、新発田藩4代藩主の溝口直広(重雄)が語つたことである。

極めつけは、元禄赤穂事件よりだいぶ後の1809(文政12)年になるが、新発田藩10代藩主溝口直順(なわあき)は(室妻)として広島藩8代藩主浅野齊賢(なりかた)の娘・歌姫を迎えている。

広島藩42万6千石の国主大名の娘が

元禄赤穂事件のあらまし

1701年3月14日、浅野内匠頭が殿中(江戸城内)で吉良上野介に切り付け、浅野は即日切腹・改易を命じられ、一方の吉良はおかまいなしとなった。当時の「喧嘩両成敗」の慣例を破った裁定であつた。浪人となった浅野の家臣大石内蔵助ら47人赤穂浪士は、吉良を討ち逃した主君の存念無念を晴らすため、翌年12月15日朝、吉良邸で吉良を討ち、泉岳寺の浅野の墓前に報告した。浪士の討入りを堀部安兵衛のはと・大目付溝口損津守らの幕閣が除から支援した。

たかたか5万石の新発田藩に直接嫁ぐなどということは、格式を重んじた当時としては釣り合いがとれず、通常ありえないことである。これは100年以上たってはいるが、元禄赤穂事件で新発田藩やその分家の溝口損津守直就が、広島浅野本家の分家である赤穂藩浅野家の敵討に大に加担したことへの返礼、感謝の気持ちの表れでなくてはならぬであろう。

ここまで分かんると、新発田藩溝口本家の当主溝口直広も何らかの形で、陰ながら討入りに協力したのではないかと疑念がフツツと湧き上がってくる。吉良邸討入りのときの集會場所の一つとなつた本所林町5千石の堀部安兵衛道場(現安兵衛公園)は、同じ林町の新発田藩下屋敷(現中和小学校)から約200メートル近く近接していることもある。これはまったくの偶然なのだろうか。今後の研究課題である。

\* 安兵衛をして討入りに成功はななく、作戦は溝口損津守と安兵衛の共作か

【編集部解説】

元禄赤穂事件で浅野内匠頭が吉良上野介に刃傷に及んだ理由は不明である。將軍徳川綱吉が内匠頭に即日切腹を申し付けた理由には、奥母・桂昌院に従一位という前例の

とんとん市場の 4月27日(金)

山菜物語

タラの芽やごみなど 春の息吹を感じる 新鮮な山菜がたっぷり

産家の直売所

とんとん市場

- 新発田店 9:00~18:00 新発田市荒町1-480 ☎0254-20-2229
- 松崎店 9:00~19:00 新潟市東区新松崎1-6-14 ☎025-274-2229
- 白根店 9:00~19:00 新潟市南区能登406-2 ☎025-372-2222

中・高制服のリサイクル

ご提供願います、ご利用ください!

「フードバンクしばた」は昨年10月から、市街地中学校3校と市内全高校の「制服リサイクルバンク」を始めました。

そして、今年3月からは、常時受け付けることができるようになりました。また、希望の多かった柔道着とセーターも扱うことになりました。2月・3月の卒業を機に、ぜひご提供くださるようお願いいたします。また、新入学や制服が小さくなった生徒・学生さんもお気軽にご利用ください。

対象中学校

- 本丸中学校
- 第一中学校
- 猿橋中学校

対象品目

- 制服
- ブラウス
- セーター
- ベスト
- 体操着
- 柔道着
- 通学バック

対象高校

市内全高校

①バル Comfy 陽だまり苑 (新発田市中央町5-4-2) 受付時間/毎日 8:30~17:30

②こども食堂

- ▶長徳寺 受付時間/毎週土曜日 10:00~14:00
- ▶多田宅(本丸中学校校門前) 受付時間/毎週日曜日 10:00~14:00

お申し込みは... フードバンクしばた事務局 ☎090-3047-8732 (土田)

ない高位を朝廷下の賜へへ運動していた最中であつたから、朝廷からの勅使・院使を迎える場を汚したとして激怒したことにふたつある。

富澤名譽教授は研究で、この後に浅野の家臣が討入りに至るまでの経緯と理由を新たに解明した。大石内蔵助が討入りの首謀者なのではなく、筋書は幕閣の溝口振津守官就らが書き、実行に当たっては溝口振津守の「はつこの堀部安兵衛が主導した」とうのだ。城郭内にあった吉良上野介邸の本所への屋敷替えがなければ、そもそも四十七士の討入りは成就しなかつた(72号参照)。城郭内への侵入は物理的に不可能であるから(図①)。

とはいえ、討入り成就の原動力は何と言つても、堀部安兵衛である。大石内蔵助は当初、浅野内匠頭の弟・大孝を立てて御家再興に動いた。これに対して、殿の存在を晴らすべく、つまり、浅野内匠頭が討ち逃した吉良上野介の首を取るとこそが家臣としての武士の採るべき道として、一貫して討入りを主張し続けたのである。

大石も大学による御家再興がかなわないと分かつた後、吉良邸屋敷替えによって物理的にも討入りが可能になったことから、討入りの決心を固めたのである。

これは推測ではないが、安兵衛は討入りのための環境整備を溝口振津守の支援を得て着々と整えたのではないかと。安兵衛と溝口振津守の連絡は、安兵衛の義兄で溝口振津守の家臣である町田新助(新五左衛門)と考えられる。

そして、溝口振津守の親戚であつた多くの幕閣がそれを支援したのである。もちろん、江戸随一の人気者であつた安兵衛に対して応援したいという個人的な感情もあつたに違いない。

しかし、支援の真の目的は上杉家取り返し(73号参照)であつた。

上杉家の当主・綱憲は吉良上野介の妻子である。夫が討たればその仇を打つた



図① 城郭内への侵入を防ぐ枳形門



図② 泉岳寺から仙石邸の途中に上杉家中屋敷がある。幕府は泉岳寺で武装解除せず仙石邸まで歩かせた



図③ 高田の馬場助太刀を描いた浮世絵

は当時の武士の習わしである。そうでなければ、泉岳寺までの凱行進行や上杉家中屋敷近郊の仙石伯耆守邸(図②)への四十七士の出頭は説明できないのである。然しこの企及は、幕府の重臣・側用人の柳沢吉保が関与していなければ成就しない。

柳沢家はかつては上杉家の仇敵の武田家の家臣である。溝口家も入封時、上杉家に煮え粥を飲まされた(73号参照)上、今回紹介したように、浅野家とは代々の縁戚であつたから、動機としても十分であるといふのである。

また、背景には元禄時代という戦のない世の中になり、幕閣の家臣や子孫に分け与える領地がなかつたことで、既存の藩を取り潰して分け与えるしかなかつた事情があつた。さらに、佐渡金山からの金の産出も激減して、金で養育を与えることも出来なくなつていり、刃傷以後の元禄赤穂事件の

幕府の対応は、江戸時代初期から中期にかけての時代背景・幕府の経済状態を理解すれば、納得できるのである。

幕府の対応は、江戸時代初期から中期にかけての時代背景・幕府の経済状態を理解すれば、納得できるのである。

いすれにせよ、元禄赤穂事件は安兵衛による「高田の馬場」の助太刀(図③)が出发点だ。安兵衛の活躍に瞞目した堀部弥兵衛が安兵衛を婿に迎え、主君・浅野内匠頭は新参の安兵衛に信頼を寄せ重く用いた。安兵衛はこの恩に報いるため、主君の切腹に際し、その無受晴らすために、あくまでも「討入り」にこだわつた。その思いに応えたのがはつこの溝口振津守であり、柳沢吉保を筆頭とする幕府の重臣はこの機を捉えて上杉家の取り潰しをねらつたのである。

今後、富澤信明名譽教授の研究で「討入りの真実の不明部分は埋められるだろう。一方、氏の論文は中央マスコミでも取り上げられ始めた。いすれ、新しい歌舞伎真説忠臣蔵創作されるかもしれない。

今後、富澤信明名譽教授の研究で「討入りの真実の不明部分は埋められるだろう。一方、氏の論文は中央マスコミでも取り上げられ始めた。いすれ、新しい歌舞伎真説忠臣蔵創作されるかもしれない。

図4 溝口家と赤穂浅野家との六重の相関系図

